



Contents 「主な内容」

- 見て・聞いて・考える人権講座・・・P 1
- 日本文化と太鼓づくり・・・P 2
- 2018年度 人権作品の紹介・・・P 3
- 人権センターの本・DVDの紹介・・・P 4

太鼓づくり

見て・聞いて・考える 人権講座

この講座では、講師が太鼓づくりの道具一式と皮を持ってきて、実際に太鼓を作りながら「職業、誇り、命」についてお話していただきます。保育士の経験から、わかりやすく楽しい語り口ですので、大人だけでなく子どもたちも楽しく学ぶことができる内容です。

人権センター公開講座・七夕人権[★]考座 合同開催

日時 **3月2日(土) 14:00～15:30**

会場 **小郡市生涯学習センター セタホール**

テーマ 『**誇りをもって生きる**』

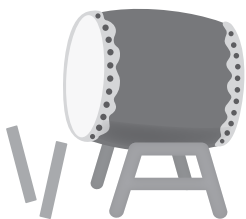
～太鼓づくりにかける思い～

講師 **宮内 礼治さん**

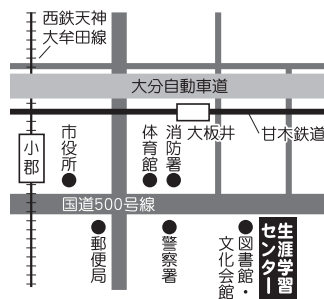
(伝統・和太鼓製造販売「宮丸太鼓店」店主)

プロフィール

- 5年間、保育士として勤めた後、父の背中を追ってあこがれの太鼓職人となる
- 小学生から大人まで幅広い年齢を対象に、全国各地で和太鼓づくりの実演を通し、人権・同和問題について考える講演会を行っている
- 部落解放同盟鹿児島県連合会 書記次長として部落問題やあらゆる人権問題の解放のために取り組んでいる



【問い合わせ・託児申込先】
小郡市人権教育啓発センター
TEL 0942-80-1080



入場
無料

手話通訳
あり

託児あり
2/22(金)までに要申込

日本文化と太鼓づくり



古代から、日本の文化や人々の生活と深く関わって発展してきた和太鼓。それは日本の伝統文化に欠くことができないものであり、私たちの生活とも切り離すことができないものです。

祭りや盆踊り、神社などで使われる太鼓の他に、ががく 雅楽や ぶがく 舞楽で用いられる かえん 火焰太鼓や だ 鼉太鼓、能や狂言では、おおつづみ 大鼓・こつづみ 小鼓・しめだいこ 締太鼓な

どがあります。さらに、現在では、創作太鼓の演奏会が盛んに開催され、私たちは、太鼓独自の音色を楽しんでいます。

しかし私たちは、それらの太鼓がどのような材料から、どのような製造工程を経て作られているのかについてあまり理解していません。それどころか、太鼓づくりを含む皮革産業の仕事に対して、いわれのない偏見もあります。

太鼓づくりは“皮革”とは切り離せない仕事であり、職人の熟練した技術によって支えられてきたものです。そこには、差別に負けず、技を磨き、その技に誇りをもってたくましく生きてきた職人の姿があります。

それらの職人の技術の素晴らしさと生き方に学ぶことによって、仕事に対する誤った差別意識に気づくことが大切ではないでしょうか。



みやうち れいじ 宮内 礼治さんより

子どもも大人も、聞いたことや噂などの表面的なことだけを信用してしまうところがあり、それが誤解をうんでしまうことがあります。誤解が偏見となり、噂となって差別になっていきます。その誤解を生む前に、その誤解を解くために学校などで講演をするようになりました。

子どもたちは食い入るように太鼓づくりを見てくれ、この人は授業で教えてくれないことを話すぞという感じで目をキラキラさせながら聞いてくれます。



小郡市教育委員会が
2018年度に募集した人権作品の中から
御原小学校6年 山田 晃成さんの
作品を紹介します



僕の友達



僕にとっての友達とは、いっしょに遊んだりしてくれる人。

僕にとっての友達とは、ときにはけんかだったりする。

僕にとっての友達とは、ときには、いやなことを言い合うことだってある。

僕にとっての友達とは、いやなことを僕がいないところでいうのではなく
僕の前で正直にいつてくれる人。

僕にとっての友達は、ほかの人には、そうだんできなくてもその人だけには、
そうだんができる人。

僕にとっての友達とは、ひとりではできなかつたことをいっしょに
手伝ってくれる人。

僕にとっての友達とは、僕が失敗したとしてもわらったりしない人。

僕にとっての友達とは、いっしょにいれば楽しい人。

みんな一人一人ちがった僕の友達

みんなちがうからこそ、僕はみんなが大好きだ。



山田さんは、友達とはどういうものなのかを深く考え、自分の生活を見つめなおしています。「いやなことを僕がいないところでいうのではなく、僕の前で正直にいつてくれる人」の一節は、現代の情報化社会の中で、大人も陥りやすい過ちに気づかせてくれるものではないでしょうか。

最後の「みんなちがうからこそ、僕はみんなが大好きだ」は、まわりの友だちの個性に気づき、それぞれの良さを受け入れることの大切さを表していて共感できます。



人権センターライブラリー

『部落史学習DVDシリーズ』

芸能と文化編

大阪人権博物館が企画、製作した部落史学習ビデオシリーズです。太鼓づくりや、食肉業、人形芝居、さらにはブラシづくりや三味線皮づくりなどの職人の技を、紹介しています。

他に〈歴史編〉と〈身分と生業編〉があります。



2017年度製作
時間38分

ともに生きる 私たちの未来

「部落差別解消推進法」がめざすもの

「部落差別解消推進法」ができた背景の現実社会とネット上で起きている新たな差別実態を明らかにする一方で、被差別部落にルーツを持つことに誇りと自信をもって活動する若者たちを紹介しています。

けんぼう絵本「おりとライオン」

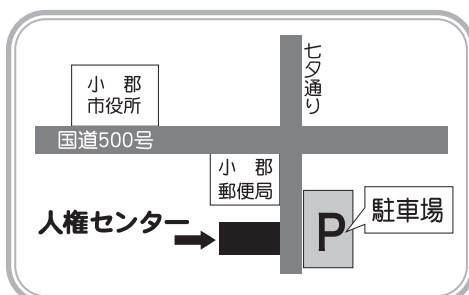
国家を「ライオン」に、憲法を「ライオンを閉じ込めるおり檻」にたとえ、立憲主義のしくみをわかりやすく説いた絵本です。子どもたちにも自分には人権があって、それを憲法が守ってくれていることがわかる内容です。



人権センター図書・DVD利用について

- ①貸出数……1回につき 5冊 (本)
- ②貸出期間…2週間
- ③手続き……貸出簿に必要事項記入

- ★このほかにも様々な人権問題をテーマにした図書やDVDを揃えています。
- ★皆様のご利用をお待ちしています。



小都市人権教育啓発センター

(所在地) 〒838-0141 小都市小郡296
 (電話&FAX) 0942-80-1080 (直通)
 (Eメール) dotai@city.ogori.lg.jp
 (ホームページ) <http://www.city.ogori.fukuoka.jp/>
 【ホーム>観る・学ぶ・人権>人権教育啓発センター】